

## 1 本資料の主旨

『小学校学習指導要領解説 社会編』には、廃棄物の処理にかかわる対策や事業を進めるうえで欠かすことのできない清掃工場等の施設を見学したり、そこで働く人々から聞き取り調査したりする等の学習活動が示されています。

本県においては、学校・地域・児童の実態に応じて創意工夫のもと特色ある社会科授業が実践されています。しかし、施設への移動が困難であるなどの理由で見学や聞き取り調査等が容易に実施できない学校もあります。

そこで、廃棄物処理に関する関係機関の出前講座等を活用した授業実践により、社会科学習のさらなる充実が図れるものと考えています。

## 2 平成 27 年度一般社団法人熊本県産業廃棄物協会「環境出前講座」の実施状況

### (1) 環境出前講座の目的

環境出前講座を実施し、児童が実際にごみの分別作業を行ったり、ごみ収集車の仕組みを学んだりするなど、廃棄物処理について体験的に学ぶ機会を提供する。

### (2) 環境出前講座の内容

- ①不法投棄の現状を知る (10 分)
- ②ごみの分別、排出量を知る (25 分)
- ③3Rについて学ぶ (10 分)
- ④収集・運搬車を見る (20 分)
- ⑤自分たちができることを考える (25 分)

### (3) これまでの実施状況

平成 25 年度 (1 校) 上天草市立今津小学校

平成 26 年度 (4 校) 甲佐町立乙女小学校, 上天草市立上小学校, 熊本市立川上小学校, 南阿蘇村立久木野小学校

平成 27 年度 (6 校)

①水俣市立水俣第二小学校



②山都町立潤徳小学校



③御船町立滝尾小学校



④天草市立本町小学校



⑤熊本市立河内小学校



⑥合志市立西合志東小学校



## 3 小学校第 4 学年社会科 (3) ア「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」の指導例

### (1) 単元の目標

ごみの処理や利用にかかわる対策や事業に関心を持ち、ごみの処理や利用と自分たちの生活や産業が深くかかわっていること、これらにかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解するとともに、地域社会の一員としてごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、進んで協力しようとする態度を養う。

【小学校学習指導要領解説 社会編より抜粋】

## (2) 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べている。</li> <li>地域社会の一員として、ごみの減量や資源の再利用などの取組に協力しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査を行ったり、地図や統計などの資料を活用したりして、ごみの処理にかかわる対策や事業について必要な情報を集め、読み取っている。</li> <li>調べたことを白地図や作品などにまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを理解している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業は計画的、協力的に進められていることを理解している。</li> <li>ごみの処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持・向上に役立っていることを理解している。</li> </ul>

【文部科学省国立教育政策研究所 平成 23 年 11 月「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」より抜粋】

## (3) 単元指導計画例

	小単元	主な学習活動例
つかむ	①ごみを分別する	○種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。
	②ごみ置き場の様子	○ごみ置き場を見学して、気づいたことを発表し合う。
	③ごみのゆくえ	○ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。
調べる	④⑤もえるごみのゆくえ	○清掃工場を見学して、わかったことをノートに整理する。
	⑥⑦もやした後のくふう	○ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。
	⑧⑨ごみが生まれ変わる	○資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。
	⑩⑪ごみしよりがかかえる問題	○ごみの処理が抱える新しい問題について調べ、わかったことを発表し合う。
まとめる	⑫グループでまとめる	○これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。

いかす	⑬⑭自分にできることを考える（本時）	○ごみの分別体験やごみ収集車の見学を行う。 ○ごみを減らすために自分にできることを考え、発表し合う。
-----	--------------------	---

環境学習のまとめとして実施し、第5学年で実施する「水俣に学ぶ肥後っ子教室」につなげる。